

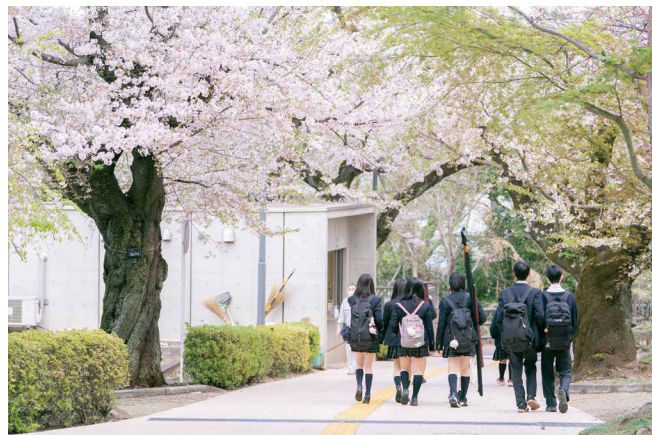
HOSEI

UNIVERSITY JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

2027



自由と進歩の校風のもと
自主自律を育む





自主自律

自ら考え判断する 「自律した人間」を育てる

コミュニケーション能力や問題解決能力を高める

自由な発想で考え、仲間とともにさまざまなことにチャレンジできること、それが大学付属校である本校の魅力です。身近なことから社会問題まで、自分たちの課題と向き合い、自分たち自身で解決方法を探る、そんな主体的な学びの場がここにあります。



「自由と進歩」の校風のもと、
「自主自律」を育む
生徒が主体的に活躍する

法政大学中学高等学校は、その前身の法政大学第一中・高等学校が1936年に創立し、90年目を迎えました。2007年の校地移転と共学化を経た現在、これまでの教育を検証し、日本国憲法と1947年制定の教育基本法、子どもの権利条約の理念と精神に則り、「安全・安心」「信頼と共同」「対話と討論」を重視した教育づくりに取り組んでいます。



文系・理系の枠にとらわれない教育
受験勉強にとらわれない

クラブ活動、生徒会活動、行事の企画や運営など、自分が本当に打ち込みたいことに全力を注ぐことができます。自分たちで考え、自分たちで創るからこそ得られる達成感。お互いの考えをぶつけ合い、みんなで1つのことを成し遂げていく中で築かれる仲間達との信頼感。決して授業だけでは得られないたくさんの経験は、何事にも代えがたい貴重な財産になります。



仲間と協力し成し遂げ続ける
学校生活
他者や社会と関わる

学校生活のあらゆる場面で求められるのは、生徒が自ら考え、判断し行動することです。そして、自分だけではなく仲間の主体性も尊重しながら、互いに力を合わせて物事に取り組む必要があります。そのためには協調性と、問題解決能力が重要になります。生徒同士や、教員・保護者・地域の方々との対話やコミュニケーションなど、様々な社会生活を経験する中で、大きく成長します。

教科紹介

平日6時間・土曜日4時間という十分な学習時間の中で、
高校3年生での探究活動や
大学での学びのための土台を固めます。



英語

実際に使える英語力へのニーズが高まる中、本校では多様なアクティビティを通して「聞く・話す」力を重視しています。中学では暗唱・リテリング・スピーチ、高校ではスピーチコンテストやディベート大会、プレゼンテーションに取り組みます。英語で考えを発信し他者を理解する力を育て、思考力・表現力・協働力の向上を図ります。



美術

創造活動を通し、自身の美的体験を豊かにし表現と鑑賞の能力を伸ばすとともに、美術に親しみ愛好する心情を養います。中学では「鉛筆デッサン」「皮革コースター制作」「銅版レリーフ」に取り組みます。高校では「絵皿スクラッチ」「油絵」制作に取り組むと同時に「西洋美術史」を学び、実技のみならず知識や教養も身につけます。



技術

技術科では、ものづくりを通して、生活や社会をよりよくする力を育てます。中学2年では木材・金属加工などのもの作りや栽培活動に取り組み、設計から製作、活用・評価までを学びます。中学3年ではエネルギー変換、情報モラル、ネットワーク、プログラミング・制御、デジタル作品制作を学びます。このような技術が社会でどのような役割を果たしているのかを知り、未来の技術を創造する力を養います。

数学

数学は広く「自然科学」「社会科学」の様々な分野を学ぶための道具となります。そのため、本校では文系・理系を問わず最終学年の高3まで必修授業として数学を学びます。物事の本質をとらえ、論理的な思考力を持って問題を解決に導いていく能力は、将来どのような進路を選択するにしても必要不可欠となるものです。本校数学科ではそれらの能力の獲得を目指したカリキュラム設定や授業を実施しています。

理科

本校の理科教育は、自然をゆたかに捉え、科学的事象に対して自分で考え、判断できる力を身につけることを目標としています。自然現象および自然界をしっかりと認識できる力を身につけ、正しい自然観をうちたて、自然とのつきあい方、科学と人間との関わり合いについて考えていきます。具体的には、我々の生きている地球や宇宙、モノ（物質）の成り立ち、生き物の生き様や体のしくみについて学んでいきます。

国語

本校の国語教育は、ことばを通して自己と他者に対する理解を深め、変化する社会の中で生きる力を育てることを目指しています。中学では「読む・書く・話す・聞く」の活動を軸に、授業を「読解」と「表現」とに分け、ことばの力を磨いていきます。高校では評論や文学作品など多様な文章を読み、論理的に考える力や表現力を養い、自ら問いを立て対話し考えを深めます。

社会

私たちが生きている社会の動きについて知り、その担い手として、どのように考え、行動すれば良いのかを学びます。特に平和で民主的な社会の形成者となることができるよう、その基礎となる内容を習得し、対話を通じて学び合い、考える力を養います。地球的な諸課題について学び、解決に向けて行動できる力を得ることを通して、主権者としての意識を育むことを目指しています。

音楽

「芸術を理解し、愛好する」という理念に基づき実技、理論、音楽史の三分野を通じて、音楽の魅力を味わいながら知識を高め、そこから自己表現力の育成を目指す授業を行います。具体的には、中学では身体の発達とともに無理のない歌唱やリコーダー、ギターといった楽器に取り組みます。高校では中学よりさらに一歩踏み込み、幅広い表現力が身につく歌唱、楽器演奏はグループでアンサンブル演奏など発展的な表現を習得します。音楽理論も実技で体感しながら学ぶことによって、作曲など自己探求も可能な取り組みを目指します。

保健体育

【体育】本校の体育の授業は、健康の増進と体力の向上を図り、心身の調和的発達を促すとともに、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てることを目標にしています。また、運動の実践などあらゆる機会を通して、ルールを守ることができる生徒の育成にも努めています。
【保健】健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自ら健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てることを目標にしています。

情報

情報科では「生徒が犯罪の被害者にも加害者にもならない」ための授業を行いたいと考えています。情報化社会が進む中で思いもよらないところで犯罪に巻き込まれる事例が後をたちません。様々な情報をタイムリーに提供することによって常に情報をアップデートしていきましょう。またプログラミングではpythonを行います。プログラミングを通して、間違いを修正するというプロセスを学びます。

在校生の声

一番好きな授業とその理由は？

- ・好きな教科は社会です。特に地理分野では、地域ごとの文化や特徴を知り、その背景や歴史を考えることに興味を持つようになりました。(中2)
- ・数学は問題が解けたときの達成感があり、体育は体を動かす楽しさや仲間と協力する面白さがあり楽しいです。(中3)
- ・英語の授業ではペアワークなど自分の考えを英語で表現する時間が多く、英語に慣れて積極的に発言する力が身につくように感じています。(高2)
- ・化学と公共の授業です。対話形式で授業が進むので、積極的に参加することができます。(高2)

在校生の声

選択授業について教えてください。

- ・各教科の先生が様々な分野の講座をしていて、その中から興味のある分野を選び受講できます。そのため、皆積極的に授業に参加しており、同じ関心をもつ仲間と共に切磋琢磨しながら学んでいます。(高2)
- ・校外学習から調理実習まで、多種多様な体験ができる講座があるので、楽しみながら学んでいます。(高2)
- ・専門性が高い分野でも初歩的な内容から始めることができるので、安心して授業を受けられます。(高2)

CURRICULUM

JUNIOR HIGH SCHOOL

カリキュラム・中学編

将来につながる 基礎を身につける

基礎学力の定着と信頼関係の構築

法政大学での学びやその先の将来を豊かにすることをイメージし、
基礎学力と学習習慣を身につけます。
その過程で、共に学ぶ仲間・教員との信頼関係が築かれます。

POINT 1



基礎学力の定着と学習習慣の確立

英国数の3教科に重点を置き、基礎学力の定着と学習習慣の確立を目指します。国語では「読解」と「表現」の授業を、数学では中1・中2で「代数」と「幾何」に分け並行して学んでいきます。英語では「英語」「英会話」に加え、中1では「フォニックス」、中2・中3では「英語演習」の授業を展開しています。「フォニックス」では綴りや発音のルールを身に付けます。中1・中2は火曜と木曜の放課後に英語と数学の指名補習「リメディアル」を設置し、フォローアップを行います。

POINT 2



信頼関係の構築

入学後すぐに行われるオリエンテーションでは、クラスメイトだけではなく学年全体でも交流する企画を設け、その後の確かな人間関係づくりにつなげます。長い「法政」での生活の中で核となる友人、教員との信頼関係を中1の早い段階で構築します。学校生活以外の日常生活の中で大切になる「自己と他者との関係の在り方」の教育も行っています。



生徒主体の行事運営を通して 主体性を育む

中学校で行われる多くの行事は生徒実行委員会が主体となり、教員の手を借りながらも自分たちで運営します。その経験の中で教科の学習だけでは得られない学びを手に入れます。特に12月に各学年で行われる行事では、①事前調査②現地調査③事後発表という学びのスタイルを作り上げ、高校での探究的で深い学びにつながる力を養います。

〔東京ウォーキング(中1)〕



〔フィールドワーク(中2)〕



〔修学旅行(中3)〕



〔海外語学研修〕

中学3年生の希望者を対象にオーストラリアのアデレードにて、11日間の語学研修を行います。ホームステイをしながら現地校に通って授業を受けたり、街中の観光をしたりします。オーストラリアの豊かな自然や独自の文化を味わえるのがこの研修の魅力です。

DAILY SCHEDULE

中学校教育課程														
8:20 8:30 9:40 10:40 11:40 12:30 13:10 13:25 14:25 17:00														
登校 1限目 2限目 3限目 4限目 昼休み SHR 5限目 6限目 ... 下校														
中学校教育課程	中学1年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	学習の時間	総合的な
		5	4	6	3	6	1.5	1.5	3	2	1	1	(2)	
	中学2年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	学習の時間	総合的な
5		4	5	4	7	1	1	3	2	1	1	(2)		
中学3年	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	道徳	特別活動	学習の時間	総合的な	
	5	4	6	4	6	1	1	3	2	1	1	(2)		

○2026年4月現在 ○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数が変更されることもあります。

EVENT

JUNIOR HIGH SCHOOL

年間行事・中学編

4月
入学式



4月
オリエンテーション

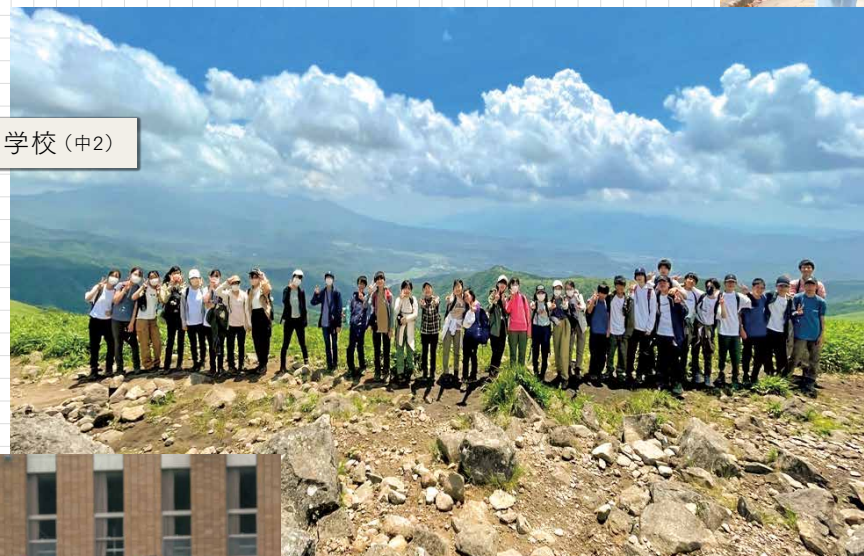


6月
陸上競技大会



7月
芸術教室

7月
林間学校 (中2)



12月
修学旅行 (中3)



フィールドワーク (中2)



東京ウォーキング (中1)



10月
鈴掛祭



1月
スキー教室 (中1)



生徒会長からのメッセージ

自分の“好き”を追求する

法政大学中学校は好きなことや得意なこと、興味のあることを追求できる場です。大学付属校という強みを活かし、中学3年生の最後まで多種多様な活動に打ち込むことができます。2026年度中学生徒会執行部は「革新躍進」というスローガンを掲げており、生徒一人一人が自分の“好き”を追求し、新しい「楽しさ」を発見することを目標としています。何かに打ち込むことで得られる経験や価値観、そして仲間のはかけがえのないものとなります。

中学生徒会長 O・Y



Student Voices

在校生の声



中学 1 年
H・Aさん

—— 法政中学の魅力や入学の決め手は何ですか？

文化祭で生徒の皆さんの**明るく楽しそうな雰囲気**に惹かれて入学しました。先生も優しく話しかけやすいことに加え、授業も分かりやすいところが魅力です。

—— 制服や校舎など、学校のお気に入りポイントを教えてください。

制服は**リボンやネクタイが選べる**ところが気に入っています。また、明るい雰囲気の校歌を歌うと法政中学校の一員になったことが実感できて嬉しいです。

—— 入学してよかったことはなんですか？

自分のレベルにあった環境の中で学習ができることです。部活を終えてからの予習・復習は大変ですが、その積み重ねが結果につながり、モチベーションになっています。

—— いま一番頑張っていることはなんですか？

部活動と学習の両立に力を入れています。自分の得意な水泳で泳力を高めながらも、リフレッシュできるので、学習にも励むことができます。



中学 2 年
A・Dさん

—— 高校で取り組みたいこと、挑戦したいことは何ですか？

高校ではバスケットボールと勉強に加え、苦手な教科にも積極的に取り組みながら、**友達とたくさんの思い出を作り、**充実した学校生活を送りたいです。

—— 中学受験生に向けたアドバイスをお願いします。

受験は不安もあり、勉強も大変ですが、**努力は必ず力になります。**最後まで諦めずに自分を信じて頑張ってください。



中学 3 年
I・Nさん

—— 受験勉強で頑張ったことを教えてください。

数学に苦手意識があったため、数学を重点的に頑張りました。法政高校の入試問題は**基礎的な力が問われる**傾向にあるため、着実に得点できるように基礎固めに力を入れました。



高校 1 年
T・Tさん

—— 入学してよかったことはなんですか？

外国文化に触れる機会が多い点です。毎年留学生を受け入れており、長期休暇には希望者を対象とした短期留学などのプログラムが用意されています。

高校 2 年
R・Rさん



—— いま一番頑張っていることはなんですか？

現在、最も力を入れているのは、**英検や簿記など資格取得に向けた学習**です。日々の授業や課題に丁寧に取り組むことに加えて、資格試験の対策にも継続的に取り組んでいます。

—— これからの高校生活でチャレンジしてみたいことを教えてください。

英語資格の取得や、行事の実行委員などに挑戦してみたいと思います。部活では、バレー部のチームの一員として、中学時代より良い成績を収めることを目標にしています。

—— 法政高校の3年間で成長したことや変わったことを教えてください。

高校で**新しい友達や先輩・後輩**と出会ったことで、物事に対する広い視野を持つことができるようになり、教育に携わりたいという将来の目標ができました。

—— 未来の後輩へのメッセージをお願いします。

夢を叶えるには**努力**が必要不可欠だと思います。「**思い立ったが吉日**」という言葉の通り、後悔しないよう挑戦する気持ちを大切にしてほしいです。



高校 3 年
S・Hさん

CURRICULUM

SENIOR HIGH SCHOOL

カリキュラム・高校編

将来を見据えた 多彩な授業内容

なりたい自分に向かって具体的に行動する

高校では文系理系といったコース分けをせず、
生徒の多様な目標に対応するため高校3年間ですべての教科を学習します。
自らの目的や進路に応じた発展的な内容の選択授業を通し、
卒業後「自ら学ぶ」ことができる力を育てます。

POINT

1

学習と諸活動を豊かにする関係性の構築

高校から新たに加わる約100名の生徒と、法政中学から進学する約140名の生徒は、高1から混合クラスで生活します。そうすることで互いに新たな刺激を与え合い、学び合うことができます。高度になる各教科の学習と、諸活動との両立を図り、充実した学校生活を送るためには、友人関係やクラス・学年の団結力が重要となります。その新たな関係性を4月の入学後に行われるオリエンテーションで構築し、その後の様々な行事を経験することで団結力はさらに強いものに変化します。

POINT

2

大学につながる学び

本校では日々の多くの取り組みを通して、自分の学びたいことや実現したいことを具体化させ、卒業後のキャリア形成に繋がります。
その中でも「総合的な探究の時間」では、①【自己理解・自分らしさ】、②【他者理解・コミュニケーション】、③【社会課題・解決の探り方】の3つを目標として掲げて取り組んでいます。高2ではさまざまな活動を通じて、自分は何者なのかを

客観的に理解し、自分の生き方を見つめ直すと同時に、自身の考えを他者と共有し合うことで協働性やコミュニケーションスキルを身につけていきます。高3では自分の興味・関心を軸にテーマを設定し、個人やグループで探究活動を進めます。
また、法政大学への進学が内定した生徒は高3の3学期に多種多様な講座から選択して学習する「三学期講座」に取り組みます。



「選択」する経験をとおして、 自らの将来を考える。

〔必修選択科目〕

高2・高3では、自分の進路に合わせて、自然科学や人文・社会科学など様々な領域から選択して学習します。進路に合わせ、文系と理系の両方の領域から授業を選択することも可能です。専門的な内容を先取りした授業が設置され、大学進学後の学習を一步リードできる内容になっています。

例：言語表現法ゼミ、国際社会研究、法学入門、数学Ⅲ、情報処理技能検定、簿記、書道、生涯スポーツ演習など

〔夏期・冬期特別講座〕

「自分で進路を選択すること」をテーマに、夏期・冬期休暇前のそれぞれ2週間、特別講座を開講しています。普段の授業では学べない多種多様な講座が開かれます。学部学科選びや将来の進路を見据えて学ぶことができる内容になっています。

例：井の頭公園で学ぶ平和、イカの解剖、歌劇「魔笛」鑑賞、監査法人に行こう、インディゴの合成実験など
※開講講座は年度および担当者により変わります

〔夏期カナダ語学研修〕

2024年度より、オンタリオ州の州都トロントにて16日間の語学研修を行っています。研修中はトロント大学内にあるSt. Michael's Collegeでのサマープログラムを体験します。英語で学び、英語で発信していく力を身につけるだけでなく現地の学生との交流を通して、社会性と国際性を育む機会となります。

DAILY SCHEDULE

		8:30	8:40	9:40	10:40	11:40	12:30	13:10	13:25	14:25	17:00								
		登校	1限目	2限目	3限目	4限目	昼休み	SHR	5限目	6限目	...	下校							
高校教育課程	高校1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ	数学A	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ or 美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	(学校設定科目) 英語会話	家庭基礎	情報Ⅰ	ホームルーム活動	計34	
		2	2	2	2	4	2	3	2	1	2	3	2	2	2	2	1		
	高校2年	論理国語	文学国語	世界史探究		公共	数学Ⅱ	数学B	物理基礎	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	必修選択		総合的な探究の時間	ホームルーム活動	計34
		2	2	3		2	4	2	2	2	2	1	4	2	4		1	1	
	高校3年	論理国語	文学国語	日本史探究	政治・経済	数学C	物理	化学	体育	英語コミュニケーションⅢ		論理・表現Ⅲ	必修選択		探究の時間		総合的な探究の時間	ホームルーム活動	計34
		2	2	2	2	2	2	2	3	4		2	8		2		2	1	

○2026年4月現在 ○学習指導要領の改定などにより、科目名・時間数が変更されることもあります。

EVENT

SENIOR HIGH SCHOOL

年間行事・高校編

4月

オリエンテーション



10月

鈴掛祭



6月

スポーツ大会



4月

入学式



1月

スキー教室 (高1)



1月

修学旅行 (高2)



12月

OB・OG講演会 (高2)



7月

文化行事



生徒会長からのメッセージ

よき師よき友つどひ結べり

法政大学高等学校の生徒は、緑に囲まれた環境で、自主自律の校風のもと、のびのびと学校生活を送っています。学びの面では、高校2年生から始まる選択科目が特色です。多くの生徒が法政大学へ内部進学する中で、普段の授業とは異なる多様な学びや資格取得等に挑戦できます。何より、先生方や友人と互いに支え合う温かな関係こそが、本校の最大の魅力です。まさに校歌のワンフレーズ「よき師よき友つどひ結べり」を体現しています。恵まれた環境の中で育まれる結びつきが、私たちの毎日を充実したものにしてくれます。

高校生徒会長K・S





法政大学
推薦資格取得者
〔2025年度卒業生215名〕

97.7%

推薦資格
取得者 210名

TO THE NEXT STAGE

法政大学への 高い進学率

付属校のメリットをいかし、進路を切り拓く

法政大学中学高等学校は法政大学の付属校であり、例年85%前後の卒業生が推薦で法政大学へ進学しています。法政大学への推薦資格を得るためには、高校3年間の総合成績と英語資格試験で法政大学が定める基準を満たすことが条件となりますが、例年95%以上の生徒が基準をクリアしています。法政大学の推薦資格を保持したまま、一定の条件の下で他大学受験ができる制度もあり、幅広い選択肢の中から自分の進路を選択することができます。



多摩キャンパス
経済・社会・現代福祉・
スポーツ健康学部



小金井キャンパス
理工・生命科学・
情報科学部

市ヶ谷キャンパス

法・文・経営・国際文化・
人間環境・キャリアデザイン・
GIS・デザイン工学部

MERIT 1 高大連携プログラム

法政大学のアイデンティティや教育目標を理解するための法政大学主催のプログラムとして、高大連携プログラムは、「大学で学ぶ意義」と題した講演をはじめ、座談会、付属校生へのメッセージと質疑応答などを行っています。その他にも希望者を対象として、総長杯英語プレゼンテーション大会、理系学部の授業を体験できる「ワンデーサイエンスカレッジ in 法政小金井キャンパス」(8月実施)や法政大学の留学生と交流する「HOSEI Summer English Camp」(8月実施)など、様々な高大連携のプログラムがあります。

法政大学総長からのメッセージ

法政大学中学高等学校の生徒へ期待すること

「自主自律の精神」——これは私にとって、非常に響きのよい言葉です。「自主」とは、自発的に考え、自ら行動する姿勢であり、学校では自分自身が学びの主体であることを意味します。また、自分の判断で行動することは、選択や決断に責任を持つということであり、その責任を引き受ける力が「自律」と深く関連しています。「自律」は、時間や健康管理などを含む自己管理の力であり、計画性や継続力にも通じます。自主性と自律性は、将来大学で学ぶ際に欠かせないだけでなく、その先の人生の礎ともなる資質です。

「自主」は「自由」との親和性が高く、本学の学風である「自由と進歩」にも通じ、のびのびとした成長を連想させます。一方で、「自律」は自己制御や抑制を想起させるため、「自由」と対立するように感じられるかもしれませんが、法政大学およびその付属校において「自由」とは、責任を持って自ら考え、行動することを意味します。

法政大学憲章に込められた「自由を生き抜く実践知」とは、誰もが自由に生きられる多様な社会の実現を目指し、自由な思考と行動を通じて、自らの現場で実践しながら知性を磨いていくことです。ここでいう「実践知」とは、単なる実学ではなく、人として大切にすべきことや、目指すべき価値について深く考え、それをどのように実現していくかを柔軟に模索する知性を指します。そして、このような知性を育むことこそが、法政大学およびその付属校の使命であると考えています。

これらの理念は、法政大学の「グローバル大学実現基本方針」における重要な柱の一つである「グローバルマインドセットの涵養」とも親和性があります。「グローバルマインドセット」とは、より多くの人々がよりよく生きられる世界の実現を目指し、グローバルな文脈の中で、自分自身そして自分の行動を意識し、柔軟な思考力をもって、習得した知識や技術を未知の状況でも活かして生き抜く力のことであり、私たちは捉えています。

法政大学中学高等学校においては、「自主自律の精神」の土台を築きながら、知識を積み重ね、さまざまな課題に対して自発的に取り組むことが求められます。受け身ではなく、先生や仲間と力を合わせ、自律的に学ぶ力を少しずつ育ててほしいと願っています。大学では、そうした力をもとに自由な学びを存分に味わい、グローバルマインドセットを培い、世界のどこでも生き抜くことができる力を身につけていくことが期待されます。中学・高校時代に真剣に学び、取り組んできたことは、必ずや皆さんの将来に生きてくると私は確信しています。



法政大学総長 ダイアナ・コー

MERIT 2 OB・OG講演会

法政大学に進学した卒業生を各学部から招き、どんな夢や目標を持ち、大学でどんなことを学んでいるのか、そのために高校時代にどんなことが大切なのかなどをテーマに講演してもらいます。「なりたい自分」をイメージするためには、大学で活躍している卒業生の姿や話は大いに参考となります。高校2年生の冬に行われるOB・OG講演会をきっかけに、自分の進路をより具体的なものにし、高校3年次の学習につなげていきます。

MERIT 3 進路情報室

高校卒業後の進路を決定していくにあたって、生徒一人ひとりに合わせてサポートできるよう進路情報室を設置しています。ここでは教員や職員と面談・相談することができ、幅広い分野の中から、自分にあった進路選択ができるようにサポートしています。法政大学の各学部の研究内容をはじめ、他大学入試に関する情報など、様々な資料や情報を生徒に提供しています。

法政大学進学実績

法学部	法律学科	16
	政治学科	6
	国際政治学科	5
文学部	哲学科	3
	日本文学科	7
	英文学科	3
	史学科	3
	地理学科	3
	心理学科	3
経済学部	経済学科	15
	国際経済学科	7
	現代ビジネス学科	4
社会学部	社会政策科学科	6
	社会学科	10
	メディア社会学科	7
経営学部	経営学科	10
	経営戦略学科	8
	市場経営学科	7
国際文化学部	国際文化学科	8
人間環境学部	人間環境学科	12
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	0
	臨床心理学科	2
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	10
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	0
GIS	グローバル教養学科	4
情報科学部	コンピュータ科学科	3
	デジタルメディア学科	3
デザイン工学部	建築学科	3
	都市環境デザイン工学科	3
	システムデザイン学科	3
理工学部	機械工学科（機械工）	3
	機械工学科（航空操縦）	0
	電気電子工学科	3
	応用情報工学科	1
	経営システム工学科	3
	創生科学科	1
生命科学部	生命機能学科	1
	応用植物科学科	1
	環境応用化学科	1

※法政大学は、理工学部機械工学科航空操縦学専修におけるパイロット養成課程について、同専修の2027年度以降の新入生の募集を行わないこととし、現在在籍する学生の訓練終了をもって同専修を廃止することを決定いたしました。詳しくは、大学のHPをご覧ください。

他大学への進学

現行の推薦制度では、法政大学への推薦権を保持したまま、一定の条件のもとで、他の国公立大学を受験することが可能です。生徒一人ひとりの進路選択、担任や進路情報室と連携してサポートしています。

他大学合格実績抜粋(2023年～)

京都大学	上智大学	明治大学
北海道大学	中央大学	立教大学
青山学院大学	東京医科大学	早稲田大学
慶応義塾大学	東京歯科大学	ブリティッシュ
国際基督教大学	東京理科大学	コロンビア大学

INTERVIEW with GRADUATES

卒業生インタビュー

誰もが一生懸命になれた法政中高

O・Iさん（法政大学国際文化学部2年）

法政中高在学中に学んだことや経験したこと

チームとして行動することの重要性を学びました。私は、高校2、3年生の頃に文化祭装飾委員会に所属し、高校3年生では委員長を務めました。文化祭における学校全体の装飾や作品制作を担い、短期間で作品の完成を目指すには、委員会全体が一丸となることが必要不可欠でした。チームで団結すれば、どんな困難も乗り越えられるのだと体感しました。

大学で学んでいることや取り組んでいること

現在私は、法政大学国際文化学部 に所属しています。今年度、カナダに留学することが決まり、その準備として、語学力を高める目的でアルバイトとしてツアーガイドを始めました。将来的に観光業に従事したいという気持ちもあるので、その第一歩としてツアーガイド業に力を入れています。大学での学びに加えて、より実践的な語学力を磨いていきたいと思っています。

未来の後輩へのメッセージ

大学に入ると、行動の範囲が広がり、選択肢が大幅に増えます。しかし、どんな場面でも指針となっているのは、法政中高で過ごした思い出であり、今の私を作り上げた大切な土台となっています。日々の授業や学校の行事、部活など、中高での一つ一つの経験は、間違いなくかけがえのない財産になると思います。誰もが一生懸命になれる環境が、法政中高にはあります。



中学時代



高校時代(部活)



高校時代(修学旅行)

主体的に考えて動くー法政中高で培った私の原点

S・Yさん（2014年卒 株式会社Oceanic Constellations）

法政中高在学中に学んだことや経験したこと

授業・部活・行事、常に生徒主導で「どうしたいか、どうすべきか」を学年関係なく自分たちで議論し、実行することが当たり前の環境で、先生がその様子をしっかり見守ってくれる安心感もありました。その中で培った主体的に考え動く経験が、今も自分の原点になっています。

大学で学んだことや取り組んだこと

体育会テニス部で主務として部の運営に4年間携わりました。入替戦に苦む状況を目の当たりにし、自分の代ではチーム内対話を意識的に重ね、悲願のリーグ昇格を果たしました。組織を動かすことの難しさとやりがい、そしてかけがえのない仲間との出会いは、自分を形作る重要な財産です。

法政中高の経験で現在の職業に活かされていること

水上無人機を開発製造する会社で、拠点立ち上げや渉外調整を担っています。前例のない仕事に関係会社との対話と相手へのリスペクトを大事にしながら、共に切り拓いていくスタイルは、中高・大学時代の経験が土台です。就職も転職も、直感と大事にしたいことへの共感が入口です。その全ての始まりは、受験生のとき正門から校舎を見て「ここだ」と感じたあの日で、それは間違っていないかったと今も思っています。



高校時代



大学時代



現在

CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

付属校ならではの環境で 新たな自己を発見する

課外活動に心置きなく打ち込める環境

学年を超えた人間関係から
多くのことを学びます。

クラブ活動は、単なる趣味の延長ではなく、クラブ活動でなければ得られない多くの経験や学びがあります。学年を超えた集団での活動は、人間関係も広がります。また強い絆で結ばれた仲間を見つけたり、協力しながらやり遂げる喜びを味わったりできます。また根気強くやり遂げる強い心を培うこともできます。クラブ活動や課外活動などに主体的に取り組み、新たな自分を発見して、自分の可能性を広げることができます。クラブ活動などを通じて自分を客観的に見つめ、学習や生活、将来の進路を考えます。

CLUB LINE UP クラブ紹介



CAMPUS

豊かな緑に囲まれた環境

中高6学年が共に学ぶ、
付属校らしい
充実した教育環境

体育施設

グラウンドは全面人工芝。体育館は地下1階、地上3階建て。メインアリーナ、サブアリーナ、屋外プール、屋上テニスコート以外にも3階には走路とトレーニングルーム、地下1階にトレーニングルーム・剣道場、部室があります。

グラウンド



体育館メインアリーナ



プール



弓道場



テニスコート



剣道場



南門



高校棟

地下1階に高1、1階に高2、2階に高3教室が配置され、学習室、理科室、社会科教室、美術室があります。地下1階から3階までは吹き抜け部分もあり、屋上庭園もあります。中学棟とは地上階の各フロアでつながっています。

マルチメディア教室



美術室



理科室



中学棟

1階に中1、2階に中2、3階に中3教室が配置され、ガラス張りの螺旋階段で各階が繋がっています。各フロアの中心に学習室があり、工作室、被服室、調理室、音楽室があります。高校棟とは各フロアでつながっています。

音楽室



工作室



調理室



法政中高HP
360°ビュー

東門



1 中庭



2 食堂



3 図書室



4 オレンジホール



5 カウンセリングルーム



